

製品・サービス動向-国内

■エイチ・シー・ネットワークス：多地点会議管理運用アプライアンス「Conference@Adapter EX」Ver.2.00 リリース、ワンタッチで多地点接続ビデオ会議、オンプレミスMCUに加えクラウドにも対応

(4月8日)

エイチ・シー・ネットワークス株式会社 (<https://www.hcnet.co.jp/>) (東京都台東区) は、自社開発・販売をしている多地点会議管理運用アプライアンス「Conference@Adapter EX」(カンファレンスアダプター イーエックス)の新バージョン2.00の提供を開始した。

多地点会議管理運用アプライアンス

Conference  Adapter EXVersion
2.00

Conference@Adapter EX(エイチ・シー・ネットワークス)

特長としては以下の通り。

- (1) 便利なワンタッチ接続機能：シスコなどビデオ会議端末（対応機種は同社に確認要）の画面に予約一覧を表示し、ワンタッチ操作で接続可能としている。
- (2) クラウドサービスに対応：マイクロソフト社 Outlook と連携し、オンプレミスの多地点会議装置（MCU）に加え、UC クラウドサービス（対応サービス

は同社に確認要）にも対応した。複数の会議サービスを同時に運用することが可能となる。

会議開催者は使い慣れた Outlook インターフェイスで、参加者への招待メール通知と、ビデオ会議端末会議の予約を行い、参加者は会議室でワンタッチ接続を行う。さまざまな環境にいる参加者の会議参加が可能となっている。

(4) 自動接続運用：自動接続オプションにより、会議開催時間に合わせて自動的に MCU から接続・切断が可能となっている（対応 MCU は同社に確認要）。会議中に音声ミュートや表示画面レイアウト変更などの操作も可能となっている。

ワンタッチ接続ができない端末環境においては、システム側から自動接続する運用により、参加者はビデオ会議端末を操作することなく、会議に参加できる。

以上の他、マイクロソフト社 Office 365 との連携、招待メールのテンプレート編集、会議接続番号および会議パスワードの自動採番機能（手動も選択可能）、会議参加者数の上限設定、管理画面における各種サービスステータス表示、ネットワーク状況のモニタリングなどの機能もある。

エイチ・シー・ネットワークスは、高品質および信頼ネットワークの提供をビジョンとするネットワークインテグレーション会社。30年以上のシステム構築実績を生かし、「ネットワーク」「セキュリティ」「ビジュアルコミュニケーション」「トータルマネジメントサービス」のフィールドで、提案から構築・保守までワンストップでデジタルネットワークソリューションを提供している。

※関連記事：定期レポート 2017年6月15日号など

■ブイキューブ：営業の働き方改革を実現させる新サービス「V-CUBE セールスプラス」を提供開始、商談数の増加、商談の可視化につなげ、営業業務全体の改善も支援

(4月2日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、営業部門の働き方改革を実現させる新サービス「V-CUBE セールスプラス」の提供を開始する。



V-CUBE セールスプラス (ブイキューブ)

V-CUBE セールスプラスは、1ステップで顧客とWeb会議を接続し、安定した通信でストレスなく、映像と資料共有を組み合わせたオンラインでの商談が行えるサービス。音声は電話を使用しており、初めて使う人でもマニュアルなしで利用できるシンプルなUIが特徴となっている。チャットによるURLやメールアドレスなど文字情報の共有やファイル共有による資料の受け渡しなども行える。

インサイドセールスやカスタマーサポートにおいて、資料や画面を簡単に共有しながら対面と同じような顧

客との対話の回数を増やすことができ、より早くより適切なコミュニケーションを実現するとしている。

働き方改革関連法が施行され、働き方改革への取り組みが本格化する中、最近では営業部門の働き方改革を目的としたWeb会議の導入が進んでいるという。営業にとって顧客との対話が重要である一方で、商談や地方出張など移動する時間を効率化し、限られた労働時間でいかに生産性を高め、最大の効果を出すかが重要になっている。

ブイキューブにおいても2006年からV-CUBE セールスプラスの前身となるサービスを活用したインサイドセールスを開始し、日々の営業活動や地方への商圏拡大、販売パートナーとのコミュニケーションの充実に取り組んできた。

これまで蓄積してきたノウハウと最新の技術を組み合わせ、新たに営業での利用シーンに特化したV-CUBE セールスプラスを提供することで、今まで移動時間や会議室の手配など場所に縛られていた営業という職務の働き方改革にも寄与できると同社では考えている。

今後は、SFAやCRMと連携することで、V-CUBE セールスプラスを通じて実施した商談の内容や結果の可視化を強化していく。加えて、ブイキューブが自社のインサイドセールスで培ったノウハウをプログラム化し、システムだけでなく顧客価値を創造することで、より多くの顧客から求められるサービスを提供していく。

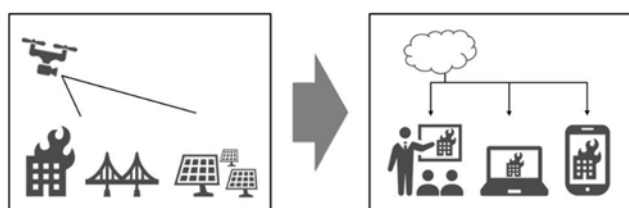
■センシンロボティクス：「リアルタイム映像コミュニケーションサービス」の機能拡充を実現した「SENSYN DC」としてリリース、テレメトリ情報やカメラ操作機能追加

(2月1日)

株式会社センシンロボティクス (<https://www.sensyn-robotics.com/>) (東京都渋谷区) は、「リアルタイム映像コミュニケーションサービス」の機能拡充を行い、ドローンの現在地やテレメトリ情

報の確認、遠隔拠点からのドローンカメラの操作が可能な「SENSYN DC (センシン ドローンコミュニケーションサービス)」の提供を開始した。

SENSYN DC は、ドローンで撮影している映像を、遠隔かつ複数の拠点でリアルタイムに共有し、コミュニケーションをとることができるサービス。災害発生時や設備点検等の際、現場に赴くことなく、リアルタイムに現場の様子を確認することができるため、即時に状況把握、意思決定することが可能になる。



災害現場や設備点検などの場面で、現場の映像をドローンで撮影

遠隔/複数拠点間でリアルタイム共有した上で、コミュニケーションをとり即時に意思決定することが可能

ドローンコミュニケーションサービスの概要 (センシンロボティクス)

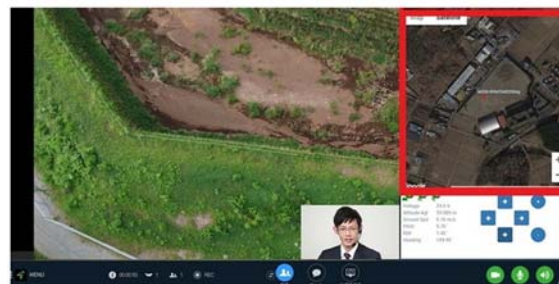
今回発表された SENSYN DC の新機能は、大きくわけて二つある。

まず一つ目は、ドローンの現在地およびテレメトリ情報を遠隔確認できるようになったこと。遠隔地で、ドローンで撮影している映像を見ている拠点からも、ドローンの位置情報を地図上で確認したり、ドローンの「バッテリー残量」「対地高度」「飛行速度」などを確認することができる。

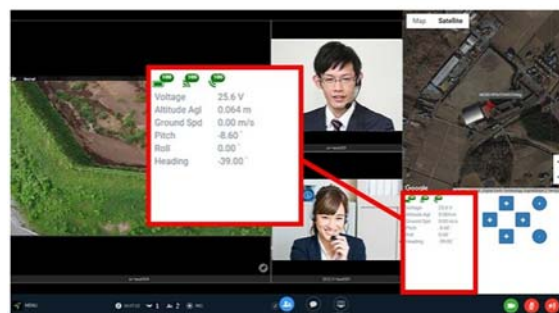
もう一つは、ドローンカメラを遠隔地点から操作できるようになったこと。遠隔で映像を見ている拠点から、特に注意深く確認したい対象物に向けてカメラの方向の変更やズームの操作を行うことができる。

今回の機能追加の背景には、2020 年代前半以降の実現が目指されている「有人地帯での目視外飛行」がある。遠隔地点からドローンの状況を正確に把握することが不可欠となるため、同社としては、従前より提供をしているリアルタイム映像コミュニケーションサービスの拡張により、遠隔の地点からドローンの飛

行位置や飛行状況を把握する機能を実現した。更に、ドローンで撮影した映像を見るべき人や見たい人に届けるという SENSYN DC の価値を強化すべく、遠隔地からのカメラ操作機能を追加した。



地図上でドローンの飛行位置を確認可能



遠隔拠点からドローンのテレメトリ情報を確認可能

新機能のイメージ (センシンロボティクス)

2015 年 10 月の設立以降、ドローンなどのロボティクス技術と先進技術を組み合わせた業務用ソリューション事業を展開している。特に自動化/汎用化の取り組みを推進していくことで、省力化・無人化も含めた新しい業務のあり方・実現の仕方を提案し、日本が直面している社会課題に応えるとともに、課題先進国である日本で培った多彩なソリューションを世界に向けて発信していきたいとしている。

そういった中、同社では、株式会社フジタ (<https://www.fujita.co.jp/>) (東京都渋谷区) と共同で建設現場における、完全自動運用型ドローンシステム「SENSYN DRONE HUB」を活用した安全確認・警備監視用の実証実験を実施 (4 月 8 日ニュースリリース発表)。4 つの基本機能である「ハッチ開閉・自動離発着・自動充電・データ転送の挙動・精度」や、目視外飛行を

想定した飛行ミッション予約、といった内容の検証を実施。ドローンの無人運用に足る必要機能を持ち合わせていることを確認できたという。

PR

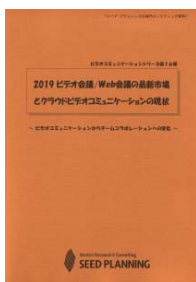
■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

■株式会社シード・プランニング



2019 ビデオ会議/Web 会議
クラウドビデオコミュニケーション
市場動向最新レポート発刊
3月21日 発売

<http://store.seedplanning.co.jp/item/10374.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（4月～6月）

「災害現場の今を共有出来ていますか？災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上」、「働き方改革セミナー 失敗しない「Web 会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！」「2分でかんたん動画作成 社内動画活用で働き方改革を推進！」など
会場（東京・大阪・名古屋・Web セミナー）
詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■新たなコミュニケーションツール活用による「働き方改革」セミナー ～「LINE WORKS」「Dialpad」「Smart at reception」～

日時：4月 17日（水）14:30～17:00（受付：14:00）

会場：ソフトバンク 本社（東京都港区）

主催：ソフトバンク株式会社

協力：Dialpad Japan 株式会社、ワークスマバイルジャパン株式会社、M-SOLUTIONS 株式会社

詳細・申込：<https://pardot.tm.softbank.jp/1/352851/2019-03-18/gz8816>

■インタラクティブ ホワイトボード（電子黒板）体験セミナー～進化したホワイトボードで会議を変える、働き方が変わる！～

日時：4月 24日（水）13:15～17:00（受付：13:00～）

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/19K045.html>

■働き方改革（ワークスタイル変革）実践事例セミナー～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる働き方改革～

日時：4月 25日（木）14:00～16:00（受付：13:30～）

会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/19K052.html>

<海外>

■LiveVideoStackCon

日時：4月 19日～20日

会場：中国・上海、上海光大会展中心国際大酒店

主催：LiveVideoStackCon

詳細・申込：<http://sh2019.livevideostack.com/>

※マルチメディア技術の分野におけるオーディオ&ビデオテクノロジーカンファレンス。

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2019年4月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp